

=====

ESET Smart Security Premium v15.1.12.0 リリースノート

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

=====

■はじめに

キヤノンマーケティングジャパン製品をご愛顧いただき誠にありがとうございます。
このリリースノートには、ESET Smart Security Premium（以後、本製品と記載）を
正しく利用いただくための情報が記載されています。
本製品をインストールする前に必ずお読みください。

■インストール前の注意事項

本製品をインストールする前に、以下の内容を確認してください。

- ・本製品をインストールする前に、すべてのプログラムを必ず終了してください。
- ・本製品以外のウイルス対策ソフトウェアがインストールされていないことを確認してください。本製品以外のウイルス対策ソフトウェアがインストールされている場合は、必ずアンインストールしてください。
本製品以外のウイルス対策ソフトウェアがインストールされていると、本製品がインストールできなかつたり、動作に支障を来す場合がございます。
- ・本製品をインストールするコンピューターに、次のプログラムがインストールされていることを確認してください。

- Google Chrome バージョン 60 以降
- Microsoft Edge (Chromium 版) バージョン 79 以降
- Mozilla Firefox バージョン 63 以降

- ・ESET Smart Security Premium v15.1 は、Microsoft Windows 7 SP1 および最新の Windows Update を適用した環境以上をサポートしています。
この条件を満たさない環境にインストールされている ESET Smart Security Premium v12.2 以前を本バージョンにバージョンアップできません。

■製品マニュアルについて

本製品のマニュアルは、オンラインヘルプをご利用ください。

インターネットに接続できる環境では、以下の URL から参照してください。

<https://help.eset.com/essp/15/ja-JP/>

インターネットに接続できない環境では、ESET 画面の右上の[?]ボタンをクリックし、ヘルプを参照してください。

■使用上の注意事項について

本製品を使用する前に、以下の内容をご確認ください。

□Windows 8/8.1 の新しい UI 画面（※）上での動作について

Windows 8/8.1 の新しい UI 画面で利用する場合、下記の注意事項があります。

- ・ Windows 8/8.1 の新しい UI 画面では、ウイルス検出時の通知などは表示されませんが、ファイアウォールの対話モード時の確認画面、SSL プロトコルフィルタリングの証明書確認画面など、一部の画面が表示されません。

※ 新しい UI 画面：

Windows 8 より追加された新しいユーザーインターフェース

■既知の問題について

本製品には、以下の問題と制約があります。

これらの問題については、将来のリリースで修正される可能性があります。

□総当たり攻撃保護の動作

詳細設定画面-[ネットワーク保護]-[ゾーン]-[ゾーン]で、IDS の対象外とするアドレスに指定するとその対象から総当たり攻撃保護で保護されません。

□検出エンジンをロールバックしたときの検出エンジンのバージョン表示

検出エンジンをロールバックした場合、検出エンジンのバージョン番号のみがロールバックしません。各モジュールは正常にロールバックされます。

□32 ビット OS 上での Anti-Theft のメッセージ表示の不備

Windows 10/8.1/8/7 の 32 ビット OS 上にインストールされた ESET 製品が Anti-Theft のメッセージを表示できません。

□ウイルス検出時の通知メールの不備

一部のメールサーバー環境では、詳細設定画面-[WEB とメール]-[電子メールクライアント保護]-[警告と通知]-[検出された電子メールの件名に追加するテキスト]を日本語でカスタマイズすると件名に意図しない文字列が追加されることがあります。

□ESET CMD について

設定のエクスポート以外のコマンドが実行できません。

□自己防衛機能が有効の場合、設定の変更ができない現象について

一部の 64bit OS の環境にて、本製品の[自己防衛機能]が有効な場合に、本製品の設定変更が保存されない場合があります。
現象が発生する場合は、本製品を一度、アンインストールし、再度インストールしてください。また、現象が解消されない場合は、[自己防衛機能]（詳細設定画面-[検出エンジン]-[HIPS]-[基本]-[自己防衛を有効にする]）を無効にしてください。

□ネットワーク共有上からプログラムなどを直接実行することができない場合の対処について

サーバー側とクライアント側の両方に、本製品などのウイルス対策ソフトウェアが導入されている場合に、共有された実行ファイルを利用する際、サーバー側とクライアント側の両方の保護機能によって重複監視されるため、ファイルを実行できない場合があります。

本現象が発生する場合は、クライアント側にインストールされた本製品のリアルタイムファイルシステム保護設定で、ネットワークドライブの検査(詳細設定画面-[検出エンジン]-[リアルタイムファイルシステム保護]-[基本]-[検査するメディア]-[ネットワークドライブ])を無効にしてください。

■製品情報

本製品に関する情報は、以下の URL から参照することができます。

ESET 製品ページ：

<https://eset-info.canon-its.jp/>

ESET 製品 Q&A ページ：

<https://eset-info.canon-its.jp/support/>